

さんぽのわ

活動を行う団体

NPO 法人のはらネットワークー時保育さんぽ <http://www.nohara-net.com/>

活動の概要

毎週水曜日の午前10時半から12時半に、横浜市にある鴨池公園“まんまる広場”に集まり、その日集まった親子で、スタッフと一緒に外遊びを行う活動である。サークルでも自主保育でもなく、親子の居場所というコンセプトの下で開催している。親子で自然と触れ合う体験と共に、他の親やスタッフから様々な子育てについて知る機会にもなっている。

0歳～3歳くらいのお子さんとお母さんが集まる
ことが多く、何度か参加している親子は、顔見知り
になり、声を掛け合うようになっている。

広場の周辺で過ごすので、時間ぴったりに集まる必要はなく、また大勢の人の中で過ごすのが苦手なお子さんなどは、少し離れた場所にも遠くから声を掛け合い、何となく含まれているというのがこの活動の特徴である。



“こうしなければならない”という決まりがない
中で、のびのびと子どもたちは自然の中で遊び始め、
スタッフはそれを見守り、子どもたちの発見に共感する関わり方をする。親自身も子どもと一緒にリラックスして自然を楽しみながら、子どもをゆったりとみても大丈夫なんだという感覚になるよう意識している。自然の中で心が解放され、子育てについて語り合える場となっている。

ウェブマガジン 森ノオト 掲載記事 <http://morinooto.jp/2016/06/01/sanponowa/>

優良事例のポイント

子育て中の親自身が自然体験に乏しく、子どもをどのように遊ばせたら良いのか分からないという人が増えてきている現状を踏まえ、子育て支援としてこうした外遊びを一緒に体験できる活動を行うことで、親自身と子どもの自然体験の機会となる。身近な自然環境に気付き、関わることで気候変動や保全への興味を持つきっかけとなり、親子ともに、持続可能な社会づくりへの主体的な参加意欲へとつながる土台を育んでいる。